

陳 情 書

平成13年 月 日

中野区議会議長 斉藤 金造 殿

件名 区立保育園民営化に父母・住民の声を反映を求めることについて

陳情代表 中野の保育を考える会

住所 中野区鷺宮2-17-4

氏名 篠崎 純子 印

主旨)

区立保育園の民営化について、父母・住民の声を反映させる仕組みを早急に作ってください。

~~早期事業者決定のための「野方北保育園廃園条例」の制定を、急がないでください。~~

理由)

行財政5か年計画の、「区立保育園の民営化」につきましては、保育課より保護者あてのお手紙をいただいたり、区報での解説があったりする中、心配をしておりましたところ、8月下旬に「行財政5か年計画と今後の保育行政についての説明会」がもたれました。

しかし、説明会では「安心な計画なので区に協力しよう」という感想を持った方は無く、父母・住民ともに一層不安を抱く結果となりました。担当課の方からは「説明をするとしたら、全園の保護者に対して行う」というご発言があり、残る対象園発表前に全園の保護者に対する説明をいただけるものと思っておりました。

ところが、先日野方北保育園父母に対し、突然に「民営化の1年延期、事業者早期決定のために廃園条例を第3回定例会に提案する」との報告があったと聞き、思いもよらない展開に、私たちは困惑と不安を募らせています。

該当園父母からの陳情がまだ審議継続の中「早々に廃園を決め、事業者を決定して父母との十分な話し合いを」と提案するのは、大変唐突で父母の思いを軽んじるものではないでしょうか。該当園以外の父母も、民営化に対する区の「すすめ方」には注目しており、この手法がこれからの民営化の手法かと不安な思いであります。

また該当園では、父母に「事業者選定基準に関するご意見をお聞きするための」場が設定されているとお聞きしていますが、そのような重大なことは、該当保育園父母だけでなく、広く父母・住民の声が反映される仕組みの中で行われるべきことなのではないでしょうか。

以上の理由から、~~早期事業者決定のための「野方北保育園廃園条例」の今定例会での制定は急がず、また、区立保育園の民営化にあたっては父母・住民の声を反映させる仕組みを早急に作っていただけますようお願い申し上げます。~~

*10月22日の中野区議会本会議において「中野区保育所条例の1部を改正する条例」が可決されたことにより、主旨の は不採択となりました。

賛同者

氏 名	住 所